

<第2回 SDGs を意識した未来の街づくりについて学ぼう>

第2回の学習は「SDGs を意識した持続可能な街づくり」をテーマに活動を行いました。

まず四日市市で現在進められている公共工事や課題について皆で共有した上で、「2040年に自分がどんな暮らしをしたいのか」、そして「その暮らしを実現する為にどんな街を創りたいか」ということを考えました。生徒達は活発に意見を交換し、理想の街の在り方と公共交通との繋がりを考えながら未来の四日市市をデザインしました。



今回の講義の中でも、車のメリット・デメリットを考える機会がありました。普段意識しない車社会の在り方を考える機会を得たことで、生徒達は街づくりにおいて、交通や景観等、様々な視点で考えることの必要性や定量的に物事を考えることの必要性を実感できました。

最後に行われたプレゼンテーションでは、「自動車」を交通手段の中心とする街づくりは、街に対しての負荷が大きいことに着目し、公共交通機関の利便性を高めた街づくりをすべての班

が提案しました。

「その地域でしかできない体験を大切に作る街」が理想であるとした生徒からは、もっと地域に関心を持って生活していきたいという意見が出ました。「全自動運転バスを充実させ、車を使わなくても、誰もがもっと自由に行きたいところへ行ける街にしたい」と考えた生徒からは、教育課程においてもっと「技術」科目を重視すべきだといった発言もなされました。講師の宗像さんから、個々人の意見の良い点だけでなく、さらに考えを掘り下げるための視点を提示していただけたことが、生徒たちにとって大きな刺激になったようでした。よ

生徒達は「SDGs」という視点を通した探究学習を通して、自己と社会の関わりから課題を見出し、よりよい社会を実現するため、主体的に行動しようとする意欲を高めることができました。



講師として来てくださった、普段なかなか接する機会のない社会人、それも社会の課題に向き合う、熱意ある大人と関わることで、大きな刺激を受けることができました。

